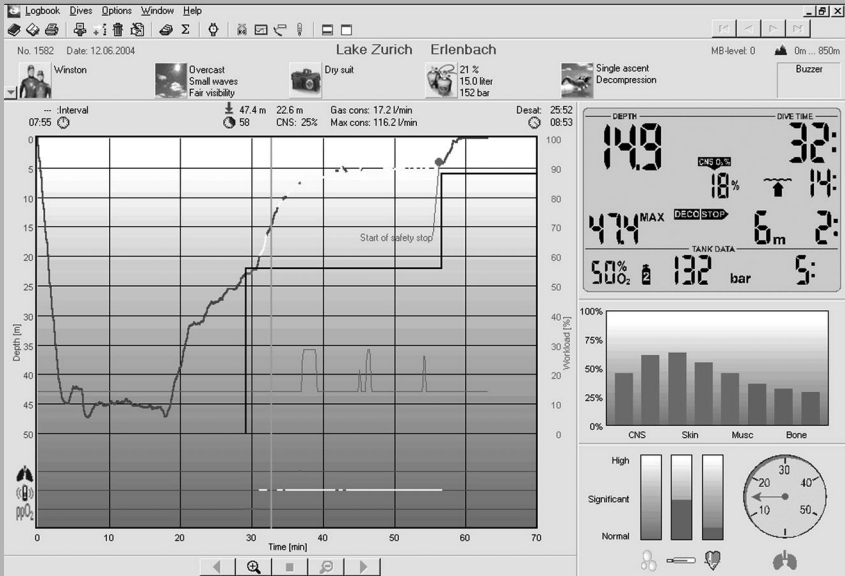


取扱い説明書



Smart TRAK

Smart TRAKは最新のダイブプロファイル分析ソフトです。ダイビングの詳細な記録・分析はもとより、デジタル写真の取り込み、ログブック作成、ダイブデータの編集、集計、抽出、印刷など多彩な機能を搭載しています。

Smart TRAKの主な特徴

- ダイブコンピュータSmart/Aladin/Galileoに保存されたダイブデータを、IrDA通信を利用してSmart TRAKに転送できます。
- PC（パーソナルコンピュータ）を利用した電子ログブックとして、これまでのダイビングを管理できます。
- ダイビング時の深度や水温の変化を、4秒間隔で確認できます。
- ダイビング中の、体内部位のガス飽和状態の変化を見られます。
- ダイビングデータの統計、抽出などを利用して、データの分析ができます。
- デジタル写真の取り込み、ダイビング中の思い出など、メモやコメントを記入できます。
- ダイビング時のダイブコンピュータの画面を表示できます。
- ログブックや、ダイブプロファイルを印刷できます。
- Smart TRAK自体の様々な表示設定ができます。

〈表記について〉

- 本マニュアルでは、ダイブコンピュータSmart/Aladin/Galileoシリーズを「コンピュータSmart & Aladin」、パーソナルコンピュータを「PC」として表記しています。
- Gas（Air）Integrated Dive Computerは、エア消費量を計測し表示し、演算にまで取り入れるUWATEC社のダイブコンピュータの総称です。

〈ご注意〉

- ※Smart TRAKは、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語など欧米各国語対応ソフトです。日本語には対応していませんので、ご了承ください。
- ※本説明書は、Smart TRAK User Guideおよびのヘルプを翻訳し日本のダイバーの皆様によりご理解いただけるよう編集したものです。
- ※本説明書を無断で複写、複製、転載することを禁止します。
- ※Smart TRAKおよび本説明書を運用した結果の影響については、いさゝ責任を負いかねますのでご了承ください。
- ※Smart TRAKの使用および本説明書に記載されている事柄は、予告なしに変更することがあります。
- *「Smart TRAK」は順次アップグレードされ、SCUBAPROのWEBサイト(scubapro.com)から最新版をダウンロードすることができます。

※Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98SE、Windows VISTA、Windows 7、Microsoft Excelは、米国Microsoft Corporationの米国およびそのほかの国における登録商標です。IBMは、International Business Machinesの登録商標です。Pentiumは米国インテル社の商標または登録商標です。そのほか記載されている会社名、製品名は各社の商標および登録商標です。

目次

I. ようこそSmart TRAKへ

1. Smart TRAKのインストール	4
1-1 ソフトウェアの動作環境	4
1-2 Smart TRAKのインストール	4
2. IrDA (赤外線) 通信環境の確認	5

II. Smart TRAKの画面

1. Smart TRAKの画面の構成	6
1-1 「Dive Table」ウィンドウと「Dive」ウィンドウ	6
1-2 ウィンドウの表示形式	6
1-3 アイコンパネル	6
2. 「Dive Table」ウィンドウ	7
2-1 「Dive Table」ウィンドウとは	7
2-2 ダイブデータの項目	7
2-3 「Dive Table」ウィンドウのカスタマイズ	8
2-4 特定のダイブデータを、「Dive」ウィンドウで表示する	8
2-5 複数のダイブデータの指定	9
3. 「Dive」ウィンドウ	9
3-1 「Dive」ウィンドウとは	9
3-2 ダイブインフォメーション・パネル	10
3-3 ダイブプロファイル パネル	10
3-4 「Dive」ウィンドウのカスタマイズ	12
3-5 ダイブコンピュータ画面 (ディスプレイ)	12
3-6 体内組織パネル	13
3-7 生理学パネル	13

III. ログブックの管理

1. ログブックの新規作成 (Logbook-New)	14
2. 保存してあるログブックを開く (Logbook-Open)	14
3. ログブックの保存 (Logbook-Save As...)	14
4. ログブックのインポート (Logbook-Import)	14
5. ダイブデータのエクスポート (Logbook-Export)	15
6. ダイブプロファイルのみのエクスポート (Logbook-Export)	16
7. ダイブデータNoの変更 (Logbook-Renumber)	16

IV. ダイブデータの管理

1. ダイブコンピュータSmart & Aladinからダイブデータを転送する (Dives-Transfer)	17
1-1 すべてのダイブデータの転送	17
1-2 新しいダイブデータの転送	17
1-3 ～以浅のダイビングの消去	17
2. ダイブデータ行の新規作成 (Dives-Insert)	18
3. ダイブデータの削除 (Dives-Delete)	18
4. ダイブデータの編集 (Dives-Edit)	18
4-1 ログブックの編集 (Edit dive-Logbook)	19
4-2 ロケーションの編集、画像データの取り込み (Edit dive-Dive Site)	19
4-3 パティの編集 (Edit dive-Buddy)	21
4-4 コンディションの編集 (Edit dive-Conditions)	22
4-5 ガス／タンクの編集 (Edit dive-Gas/Tank)	22
4-6 ダイビングギアの編集 (Edit dive-Gear)	23
4-7 アクティビティの編集 (Edit dive-Activities)	24

4-8	ダイビング内容の編集 (Edit dive-Type of Dive)	25
4-9	Fish情報の編集 (Edit dive-Fish)	26
4-10	ダイブデータにコメントを追加する (Edit dive-Notes)	27
4-11	DAN情報を追加する (Edit dive-DAN)	27
5.	「Dive」ウィンドウの編集	28
5-1	ダイブプロフィールにメモをつける (Markers)	28
5-2	画像データを表示する (Pictures)	29
5-3	パティのダイブプロフィールを一括に表示する (Dives Insert/Clear Patner Profile)	29
6.	ダイブデータの抽出 (Dives-Select)	30
7.	ダイビング情報の統計 (Dives-Statistics)	30
8.	ダイブテンプレート (Dives-Dive Template)	32
9.	時差の調整 (Dives-Adjust Time Zone)	32

V.印刷する

1.	使用するプリンタの設定	33
2.	印刷プレビュー	33
3.	「Dive Table」ウィンドウの印刷	33
4.	「Dive」ウィンドウの印刷	33
5.	統計結果の印刷	34
6.	文字色の変更	34
7.	グレースケールダイブプロフィール	34

VI.オプション・メニュー

1.	表示単位の変更 (Options-Units)	35
2.	画面レイアウトを設定する (Options-Layout)	35
2-1	ダイブプロフィールのカーソルを設定する	35
2-2	ダイブプロフィールの背景を設定する	35
2-3	Remarks/パネルの文字の大きさを設定する	36
2-4	色設定を細かく指定・保存する	36
3.	水温と運動量のプロフィール表示の切り替え (Show Temperature Profile/Show Workload Profile)	36
4.	ダイブコンピュータの設定 (Options-Dive Computer Settings)	37
5.	プログラム オプション (Options-Program Options)	40

VII.	よくある質問/トラブルシューティング	41
------	--------------------------	----

I. ようこそSmart TRAKへ

1. Smart TRAKのインストール

1-1 本ソフトウェアの動作環境

お持ちのパーソナルコンピュータ(PC)にSmart TRAKをインストールするには、以下の環境が必要です。

- ◆OS* : Windows XP/Windows 2000/Windows Me/Windows 98SE/Windows VISTA/
Windows 7
- ◆ハードウェア*: IBM互換Pentium相当機
- ◆メモリー、必要空き容量*: Windows XP、Windows 2000の場合、最低64MBのRAM、ハードウェアディスクに10MB以上の空き容量
Windows Me、Windows 98SEの場合、最低32MBのRAM、ハードウェアディスクに10MBの空き容量

※表記のOS以降の詳細等は、SCUBAPRO Webサイト(scubapro.com)をご覧ください。

1-2 Smart TRAKのダウンロード

Smart TRAKは、SCUBAPRO Webサイト(scubapro.com)からダウンロードいただけます。

2.IrDA* (赤外線) 通信環境の確認

ダイブコンピュータSmart & Aladin内のダイブデータをSmart TRAKへ転送(P17.IV-1参照)したり、ダイブコンピュータSmart & Aladinの表示単位の変更などの設定(P37.VI-4参照)を行うためには、通信環境を整えておく必要があります。IrDA通信を始めとする実際の作業手順に関しては、各項で説明しています。

- お持ちのPC本体に、IrDA (赤外線) ポートが標準装備されていることを確認してください。
- IrDA (赤外線) ポートを標準装備していないPCは、PC本体用のIrDAデバイスを別途ご用意ください。PC本体のIrDA (赤外線) ポートやIrDA (赤外線) デバイスのドライバーのインストールに関する詳しい情報等は、お持ちのPCのサポートデスクやIrDA (赤外線) デバイスのメーカーにお問い合わせください。

*IrDA:赤外線を使った通信装置やそれを行う規格。ケーブルで接続せずにデータをやり取りできる。

*ダイブコンピュータSmart & Aladinの赤外線ポートは楕円の形をしています。赤外線ポートはディスプレイ右側に、Smart COMは下ディスプレイ (GAS (Air) 関連情報を表示) の左側にあります。

II. Smart TRAKの画面

1. Smart TRAKの画面の構成

インストール完了後にSmart TRAKを立ち上げると、付属のデモ・ファイルが画面に表示されます。このデモ・ファイルを操作しながら、Smart TRAKの画面構成、特性を確認してください。

*Smart TRAKのインストールが完了したことを前提に説明しています。

1-1 「Dive Table」ウィンドウと「Dive」ウィンドウ

Smart TRAKには「Dive Table」ウィンドウと「Dive」ウィンドウの、2つのウィンドウがあります。

*デモ・ファイルでは2つの画面が重なって表示されます。(下図参照)

◆「Dive Table」ウィンドウ…表組み形式になっているダイブデータの一覧表示です。

◆「Dive」ウィンドウ…「Dive Table」ウィンドウ内のひとつのダイブデータの、ダイブプロフィールや体内窒素状況などの詳細なデータを折れ線グラフや棒グラフなどで表示します。

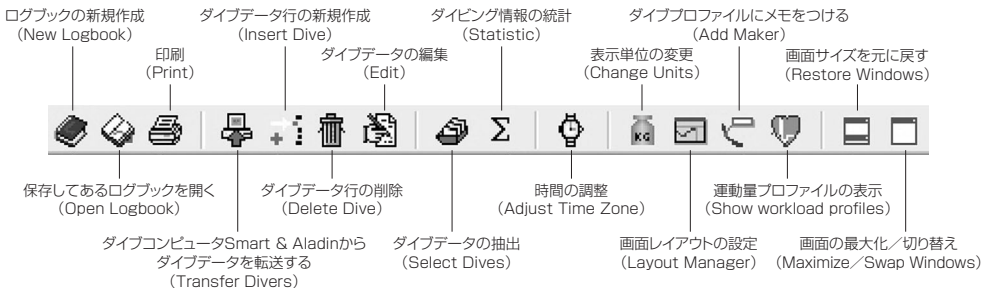


1-2 ウィンドウの表示形式

ウィンドウの表示形式は、メニューバーの「Window」で変更できます。2つのウィンドウを重ねて表示する「Cascade」や上下「The Horizontally」、並列「The Vertically」、どちらかの1ウィンドウのみを最大表示する「Maximize」他が選べます。

1-3 アイコンパネル

重要なメニュー項目が、アイコンパネルにアイコンで表示されています。マウスをワンクリックするだけでメニュー項目や機能を選択・実行できます。



2. 「Dive Table」ウィンドウ

2-1 「Dive Table」ウィンドウとは

「Dive Table」ウィンドウはいわゆる電子ログブックで、Smart TRAKを活用する上でのデータベースとなるものです。ダイブコンピュータSmart & Aladinから転送したダイブデータが一覧で表示されます。各ダイブデータにはエントリー&エキジット時刻、水温など45の項目のデータを表示することができます。

*Smart TRAKに転送されたダイブデータはダイビング日時順に並び、自動的にダイブデータ№がつけられます。(一番左欄「Number」)

*項目の表示、非表示の方法はP8を参照。

「Dive Table」のウィンドウ

The screenshot displays a table with the following columns: Number, Date, Location, Site, Max Depth, Average Depth, Immersion, Out Time, Interval, No Fly Before, No Fly Time, No Stop/Ascent, Desat. Before, Desat. After, CNS Before, CNS After, and Weight. The data is organized into sections for different dates and locations, such as '1981/12/30/2004 Bahamas' and '1981/12/31/2004 Bahamas'.

ダイブデータ

ダイブデータ№

2-2 ダイブデータの項目

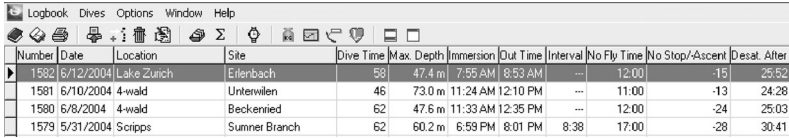
以下の項目のダイブデータを表示します。項目の表示、非表示に関してP8に説明があります。参照して下さい。

- | | |
|--|----------------------------------|
| Number (ダイブデータ№) | O ₂ Fraction (酸素比率) |
| Rep. No (反復潜水№) | Tank Type (使用タンクタイプ) |
| Date (ダイビング日時) | Tank Size (使用タンクサイズ) |
| Location (ダイビング地) | P. Start (ダイビング開始時のタンク内の残圧) |
| Site (ダイビングエリア) | P. End (ダイビング終了時のタンク内の残圧) |
| Platform (エントリー方法) | Consumption (ガス消費量) |
| Bottom (水底状態) | Altitude Class (高度クラス) |
| Dive Time (潜水時間) | Altitude (高度) |
| Max. Depth (最大深度) | Water (水質) |
| Average Depth (平均深度) | Weather (天気) |
| Immersion (エントリータイム) | Surface (海面の状態) |
| Out Time (エキジットタイム) | Underwater (水中の状態) |
| Interval (水面休息時間) | Visibility (透明度) |
| No Fly Before (ダイビング前の飛行機搭乗待機時間) | Current (潮の速さ) |
| No Fly Time (飛行機搭乗待機時間) | Air Temperature (気温) |
| No Stop/Ascent (無減圧限界時間/減圧ダイビング時の最長トータル浮上時間(数値の前に(マイナス)を表記)) | Min. Water Temp. (最低水温) |
| Desat. Before (ダイビング開始時の体内残留窒素排出時間) | Max. Water Temp. (最高水温) |
| Desat. After (ダイビング終了時の体内残留窒素排出時間) | MB- level (マイクロバブルレベル) |
| CNS Before (ダイビング前のCNS O ₂ %) | Battery (バッテリー残量) |
| CNS After (ダイビング後のCNS O ₂ %) | Max. Depth Alarm (深度アラームの深度) |
| Suit (ウェットスーツ) | Dive Time Alarm (ダイブタイムアラーム設定時間) |
| Weight (ウエイトの重さ) | ppO ₂ Limit (最大酸素分圧) |

II.Smart TRAKの画面

2-3 「Dive Table」ウィンドウのカスタマイズ

「Dive Table」ウィンドウ内のセルはいろいろ修正できます。並び順以外はすべて自動保存されます。以下の変更はすべて、印刷に影響を及ぼすことに注意してください。



Number	Date	Location	Site	Dive Time	Max. Depth	Immersion	Out Time	Interval	No Fly Time	No Stop/Ascent	Desat. After
1582	6/12/2004	Lake Zurich	Erlenbach	58	47.4 m	7:55 AM	8:53 AM	---	12:00	-15	25:52
1581	6/10/2004	4-wald	Unterwilten	46	73.0 m	11:24 AM	12:10 PM	---	11:00	-13	24:28
1580	6/8/2004	4-wald	Beckenried	62	47.6 m	11:33 AM	12:35 PM	---	12:00	-24	25:03
1579	5/31/2004	Scripps	Sumner Branch	62	60.2 m	6:59 PM	8:01 PM	8:38	17:00	-28	30:41

◆並び順の変更

「Number」や「Date」などのタイトル・セルを左クリックすると、そのセルを基準にして昇順あるいは降順で並びます。もう一度タイトル・セルをクリックすると、現在表示されている順とは逆（昇順の場合は降順）に並び変わります。

◆セル幅の調整

セルの幅を調整できます。調整したい項目のセル右側の境界線にカーソルを合わせ、左クリックしながら、適当な幅までドラッグします。

◆項目の移動

「Number」や「Date」など項目列の位置は移動することができます。ある項目を一番右に移動させるなど、項目の並び順を変えることができます。マウスで項目のタイトル（「Number」など）を左クリックしたまま移動したい位置までドラッグします。

◆項目の表示、非表示

「Dive Table」ウィンドウ上で右クリックをすると、ポップアップメニュー「Table Columns」が開き、項目の一覧が表示されます。表示したい項目には✓を入れ、表示させたくない項目は✓をはずします。

2-4 特定のダイブデータを、「Dive」ウィンドウで表示する

「Dive」ウィンドウで表示するダイブデータを指定するには、以下の2つの方法があります。

◆「Dive Table」ウィンドウ上で操作する

特定のダイブデータをマウスでクリックすれば表示できます。

あるいは↑↓キーで特定のダイブデータを指定し表示させます。Ctrlキーを押しながら↑↓キーと一緒に押すと、一番最初や一番最後のダイビングデータ行に移ります。

◆メインスクロールを使う

メインウィンドウ内のメインスクロールをクリックすることで、ダイブデータからダイブデータへと移動できます。◀▶をクリックすると1行ずつ移動し、◀▶をクリックすると、一番上や一番下のダイブデータ行に移ります。



2-5 複数のダイブデータの指定

複数のダイブデータを指定することもできます。

*マウスホイールは使用できません。

*ダイブデータの削除やタイムゾーンの調整時に、この操作を利用します。

◆連続したダイブデータの指定

ダイブデータNo.2~10のように連続したダイブデータを指定するには、Shiftキーを押しながら最初と最後のダイブデータを左クリックします。

Shiftキーを押しながら↑↓キーでダイブデータを選択することもできます。

◆いくつかのダイブデータの指定

ダイブデータNo.2、5、11、20のように非連続なダイブデータを指定するには、Ctrlキーを押しながらダイブデータを左クリックします。

*ダイブデータをスクロールする場合は右のスクロールバーを使用します。選択されたダイブデータは色が変わり(初期設定値は青)、選択した目印に最も左のセルに「.」が表示されます。

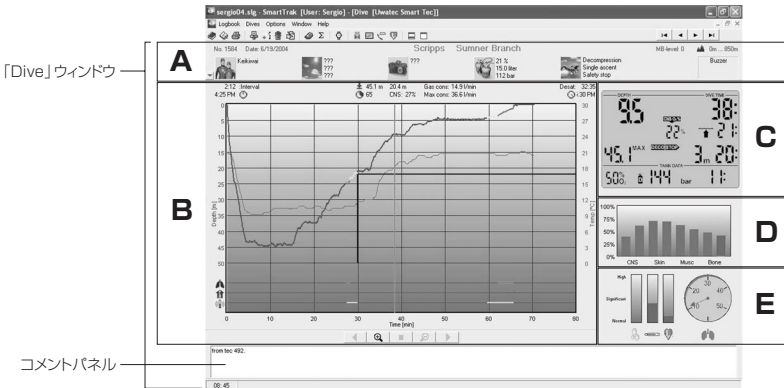
3. 「Dive」ウィンドウ

3-1 「Dive」ウィンドウとは

「Dive」ウィンドウは、「Dive Table」ウィンドウで指定したダイブデータの詳細な情報を表示します。

ダイブプロフィール、ダイブコンピュータ画面、体内組織の窒素飽和状態、生理学的データ、コメント、ダイブ写真やダイビングに関するその他多くの情報を表示します。

表示画面は大きく分けると、ダイブインフォメーション・パネル、ダイブプロフィール・パネル、ダイブコンピュータ画面、体内組織パネル、生理学パネルの5つに分けられます(下図参照)。

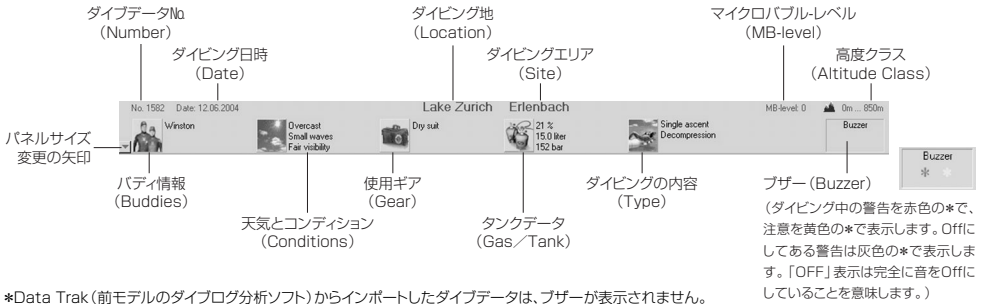


- A: ダイブインフォメーション・パネル→P10/3-2
- B: ダイブプロフィール・パネル→P10/3-3
- C: ダイブコンピュータ画面→P12/3-5
- D: 体内組織パネル→P13/3-6
- E: 生理学パネル→P13/3-7

II. Smart TRAKの画面

3-2 ダイブインフォメーション・パネル

「Dive」ウィンドウの最上段がダイブインフォメーション・パネルです。以下の内容を表示します。

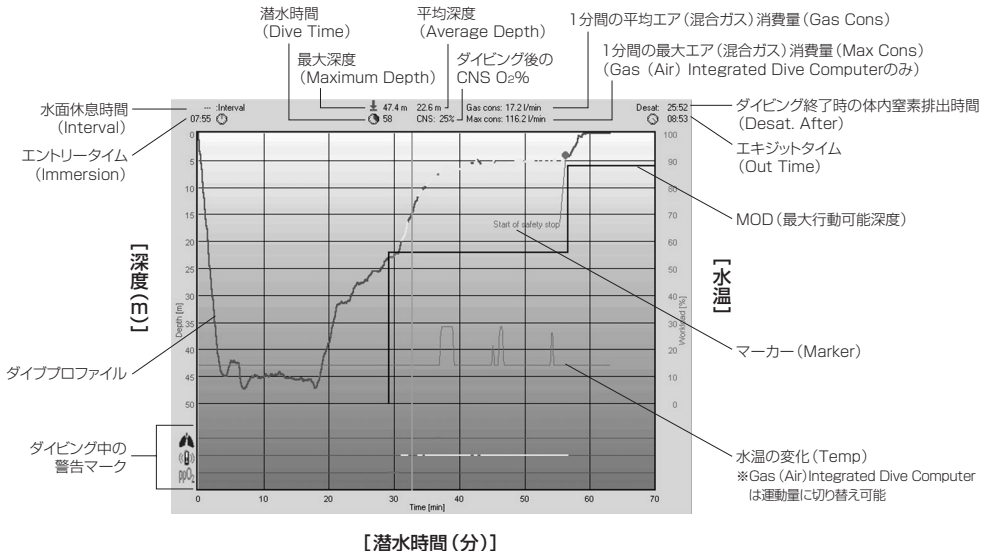


パネルサイズの変更は、ダイブインフォメーション・パネル左下の矢印を利用します。

訂正や追加など情報の編集は、ダイブインフォメーション・パネル上の5つのアイコンを直接クリックしてください。「Edit Dive」ウィンドウが開き、情報の編集 (P18.IV-4参照) ができます。

3-3 ダイブプロフィール パネル

ダイブプロフィール・パネルはダイブプロフィールだけでなく、上部にそのダイビングに関する情報を、左下にそのダイビングで出された警告をマークで表示します



◆ダイブプロフィールのズームとパン

ズームとパンボタンを利用して、ダイブプロフィール・パネルのズームアップやズームアウト、移動ができます。



1分間の平均エア（混合ガス）消費量と、1分間の最大エア（混合ガス）消費量は、平均深度とダイビング後のCNS O₂%の右に表示されます。Smart TECの場合は、1分間のエア（混合ガス）消費量には全タンクが含まれ、最大エア（混合ガス）消費量は最大瞬間消費をしたタンクの数値が表示されます。エア（混合ガス）の消費に関する情報は、Smart TRAKにタンク情報を入力している場合のみ表示されます（P22「IVダイブデータの管理 4-5ガス／タンクの編集」参照）。

ダイブプロフィールは、そのダイビングの状況を、潜水時間と深度を軸にグラフで表示します。また水温の変化もグラフで表示します。Gas（Air）Integrated Dive Computerでは、水温変化のグラフを運動量のグラフに切り替えることができます。切り替え方は、次項3-4のポップアップメニューViewを参照。

*Data Trakからインポートしたダイビングでは水温を表示しません。

深度を表示する範囲内に、MOD（最大行動可能深度）表示が可能な場合のみ、MODを太い黒線で表示します。通常、この線は1ダイビングで一定です。しかしSmart TECの場合、酸素分圧が異なるタンクを使用するので、それぞれのタンク内の酸素分圧を考慮したMODを表示します。その場合、MODは一定ではなくタンク交換の後で変化します。

警告マークの説明



【浮上速度違反】

実際の浮上速度が、インプットされた各深度の適切な浮上速度より110%以上速かった警告

CNS

【酸素有害度】

酸素の有害度が75%以上に達した警告



【減圧停止指示違反】

減圧停止指示に従わなかった警告

ppO₂

【酸素分圧】

酸素分圧の限界に達した警告



【マイクロバブルレベルSTOP指示違反】

マイクロバブルレベルSTOPの指示に従わなかった警告



【深度アラーム】

あらかじめ設定した深度に達した警告



【ダイブタイムアラーム】

あらかじめ設定した潜水時刻に達した警告

◆Gas（Air）Integrated Dive Computer使用時◆



RBTが3分を切った時の警告



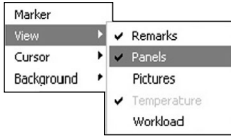
エア消費量増加の警告

II.Smart TRAKの画面

3-4 「Dive」ウィンドウのカスタマイズ

①ポップアップメニュー

Diveウィンドウ上でマウスを右クリックすると、下のようなポップアップメニューが開きます。ポップアップメニューで次のような選択が可能です。



◆**Marker** : 特記事項の入力、編集、削除ができます。(P28.IV 5-1参照)

◆**View** : 各パネルの表示、非表示の設定。表示したい項目に✓を入れてください。

*Remarks (コメント)、Panels (ダイブコンピュータ画面、体内組織と生理学パネル)、Pictures (写真)、Fish (Fish情報)、Temperature (温度)、Workload (運動量)

*水温と運動量の表示切り替えは、メニューバー「Options」内の「Show temperature (またはworkload) profile」のクリックで切り替えられます。PictureとFishパネルは同時には表示できません。他パネルの表示方法は各項を参照してください。

◆**Cursor** : ダイブプロファイルのカーソルの選択。(P35.VI 2-1参照)

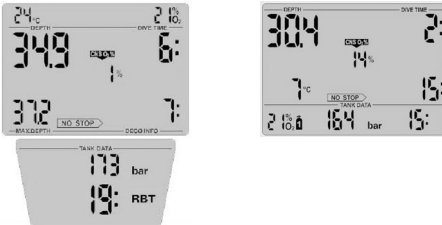
*Line (直線で表示)、Cross (十字線で表示)、Diver (ダイバーで表示)

◆**Background**: ダイブプロファイル、体内組織、生理学の3つのパネルの背景の色を選択できます。(P35.VI 2-2参照)

②画面やパネルの表示、非表示

ダイブコンピュータ画面、体内組織と生理学パネルは1グループとして、またRemarksとダイブ写真パネルはそれぞれ独自に表示、非表示の設定ができます。これらの設定は、ポップアップメニュー(上記参照)、またはメニューバーの「Options-Layout」(P35.VI -2参照)から行えます。

3-5 ダイブコンピュータ画面(ディスプレイ)

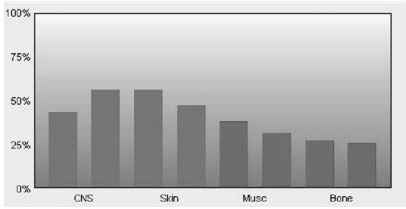


ダイビングのあらゆる段階での、ダイブコンピュータの画面を表示できます。ダイブプロファイルのグラフ上で、特定の場所をクリックすると、その時のダイブコンピュータの画面が表示されます。ダイブコンピュータ画面の下部ディスプレイ(タンクデータ)は、Gas (Air) Integrated Dive Computerのみ表示します。しかしData Trakからインポートしたダイビングのデータは下部ディスプレイを表示しません。

ダイブコンピュータ画面をより読みやすくするには、Windowsの「コントロールパネル」内の「画面」を選択し、「画面のプロパティ」を開きます。「デザイン」タブの「効果」コマンドボタンをクリックし、「次の方法でスクリーンフォントの縁を滑らかにする」に✓を入れます。

*ダイブコンピュータの画面に関する詳細な情報は、ダイブコンピュータSmart & Aladinの取扱説明書を参照ください。

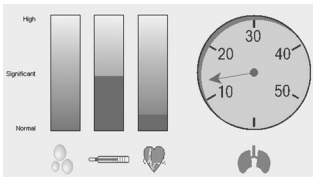
3-6 体内組織パネル



ダイブプロファイルの右中央に表示される棒グラフが、体内組織パネルです。これは演算モデルで考えられている8つの体内組織に、窒素が何%飽和しているかを示しています。左側が体内窒素飽和の速い組織で、右側が遅い組織です。グラフは大気圧を考慮した相対的な窒素飽和度を示します。

- ◆赤棒グラフは、ガスが飽和しつつある状態を示します。
- ◆緑棒グラフは、ガスが脱飽和しつつある状態を示します。
- ◆紫棒グラフは、ガスが過度に飽和した状態を示します。

3-7 生理学パネル

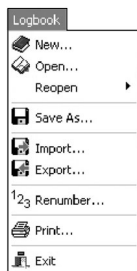


ダイブプロファイルの右下にあるグラフが生理学パネルです。このグラフは、予測されるマイクロバブル形成状況、予測される皮膚温度の低下、また予測される運動量をインジケータで表示します。Gas (Air) Integrated Dive Computerは、このインジケータの右にエア消費量を円形のゲージで表示します。

- ◆インジケータ【左】：マイクロバブルの形成を示します。
- ◆インジケータ【中央】：皮膚温度の低下を示します。
- ◆インジケータ【右】：運動量を示します。
- ◆ゲージ : 1分間のエア消費量をリットル単位で、またはcft (キュービックフィート単位) で表示します。
(Gas (Air) Integrated Dive Computerのみ)
*ただしこのゲージは、使用タンクサイズが入力されている (P22.IV4-5参照) 場合にのみ表示されます。

Ⅲ.ログブックの管理

ダイブデータをひとつ、あるいは複数のログブックに保存できます。



1.ログブックの新規作成 (Logbook-New)

新しいログブックを作り、自分のダイビングを追加できます。ダイブコンピュータSmart & AladinのようにSmart TRAKと互換性を持つダイブコンピュータからデータを転送したり、Data TRAK形式(前モデルのダイブログ分析ソフト)のダイブログをインポートすることができます。

- ①メニューバーの「Logbook-New」を選択します。
- ②保存するフォルダを指定し、ファイル名を入力します(ファイルの種類はSmartTRAK Logbookです)。
- ③「保存」で確定すると、ログブックの新規作成ができます。このログブックに、ログを追加できます。

2.保存してあるログブックを開く (Logbook-Open)

Smart TRAKを起動すると、最近使ったログブックのダイブデータが自動的に開きます。保存してある別のログブックを開くには、以下の手順を行います。

*別のログブックを開くと、現在開いているログブックは自動的に保存されウィンドウが閉じられます。

- ①メニューバーの「Logbook-Open」を選択します。
- ②ログブックの保存されているファイルの場所を選び、開きたいログブックを選択し「開く」で確定すると、選択したログブックが開きます。

*以前開いたログブックは「Logbook-Reopen」に履歴が残っているので、それをクリックして開くことができます。

3.ログブックの保存 (Logbook-Save As...)

Smart TRAKは自動的に上書き保存を行います。ログブックのダイブデータの内容等を変更した場合、わざわざ上書き保存する必要はありません。

変更したログブックやコピーを上書き保存せずに、別の新しいログブックとして保存する場合は、メニューバーの「Logbook-Save As...」を選択します。そして保存する場所・フォルダを指定し新しいファイル名を入力します。

*新規のログブックとして保存する時に、ファイルの種類にある「Compressed Logbook」を選択すると、圧縮して保存できます。

4.ログブックのインポート (Logbook-Import)

Data TRAK(前モデルのダイブログ分析ソフト)のログブックや、Smart TRAKの複数のログブックを、現在開いているひとつのログブックにインポートし、ダイビングの情報を見比べることが可能です。

①Smart TRAKのログブックをインポートする

メニューバーの「Logbook-Import」を選択します。「Import」ウィンドウで、「ファイルの種類」が「Smart TRAK Logbook」の中から、インポートしたいSmart TRAKのログブックを指定し「開く」をクリックします。インポートしたログ数を表示する「Information」ウィンドウの「OK」をクリックして完了です。

②Data TRAKのログブックをインポートする

メニューバーの「Logbook-Import」を選択します。「Import」ウィンドウで、「ファイルの種類」が「Data TRAK Logbook」の中から、インポートしたいData TRAKのログブックを指定し「開く」をクリックします。インポートしたログ数を表示する「Information」ウィンドウの「OK」をクリックして完了です。

5.ダイブデータのエクスポート (Logbook-Export)

特定のダイブデータだけを他のログブックに移すことが可能です。

①Smart TRAKのログブックへエクスポートする

1. 「Dive Table」ウィンドウ上でエクスポートしたいダイブデータを指定し、メニューバーの「Logbook-Export」を選択します。
2. 「Export」ウィンドウで、「ファイルの種類」が「Smart TRAK Logbook」の中からエクスポート先のログブックを指定して「保存」をクリックします。新規ログブックへエクスポートする場合は、「ファイルの種類」で「Smart TRAK Logbook」を選択。新しいファイル名を入力して「保存」をクリックします。

②DANのDL7ファイルへエクスポートする

DAN (ダイバーズ・アラート・ネットワーク) ファイルへエクスポートできます。

二種類のフォーマットがあり、DL7のレベル1あるいはレベル3にエクスポートできます。レベル1はプロファイルデータのみ。レベル3はダイバーの個人情報と、そのダイビングの詳細説明が含まれます。入力が必要な項目、およびDANのDL7ファイルに関する詳細はDANにお問い合わせください。

1. 「Dive Table」ウィンドウ上でエクスポートしたいダイブデータを指定し、メニューバーの「Logbook-Export」を選択します。
2. 「Export」ウィンドウで「ファイルの種類」が「DAN DL Level1」あるいは「DAN DL Level3」の中から、エクスポート先のログブックを指定して「保存」をクリックします。新規ログブックへエクスポートする場合は、「ファイルの種類」で「DAN DL Level1」あるいは「DAN DL Level3」を選択。新しいファイル名を入力して「保存」をクリックします。

Ⅲ.ログブックの管理

6.ダイブプロファイルのみのエクスポート(Logbook-Export)

特定のダイビングのダイブプロファイルのみを、新規Excelファイルや既存のExcelファイル、あるいはテキストファイルにエクスポートできます。表示されるプロファイルデータは潜水時間、深度、水温、そしてGas (Air) Integrated Dive Computerのみタンク圧とRBTも表示します。

①Excelファイルへエクスポートする

1.「Dive Table」ウィンドウ上でエクスポートしたいダイブデータを指定し、メニューバーの「Logbook-Export」を選択します。

2.「Export」ウィンドウで、「ファイルの種類」が「Microsoft Excel」の中からエクスポート先のファイルを指定して「保存」をクリックします。新規ファイルへエクスポートする場合は、新しいファイル名を入力して「保存」をクリックします。

*エクスポートしたひとつのダイビングプロファイルごとに、ひとつのワークシートが作成されます。

◆注意!

Excelのワークシート名が同一の場合、エクスポートされたデータが上書きされ、古いデータはすべて失われてしまいます。前のダイビングも保存したい場合は、名前を変更してください。

②テキストファイルとしてエクスポートする

一回にひとつのダイブプロファイルをテキストファイルとしてエクスポートすることができます。その後、さらに処理をすれば別のアプリケーションにインポートできます。

1.「Dive Table」ウィンドウ上でエクスポートしたいダイブデータを指定し、メニューバーの「Logbook-Export」を選択します。

2.「Export」ウィンドウで、「ファイルの種類」が「Profile as text」の中からエクスポート先のファイルを指定して「保存」をクリックします。新規ファイルへエクスポートする場合は、新しいファイル名を入力して「保存」をクリックします。

◆注意!

ファイル名が同一の場合、エクスポートされたデータが上書きされ、古いデータはすべて失われてしまいます。前のダイビングも保存したい場合は、名前を変更してください。

7.ダイブデータ№の変更(Logbook-Renumber)

ログブックのインポートやダイブデータのエクスポート、あるいはダイブデータ行の新規作成や削除(P18.IV-2、IV-3)などを行い、ログブック内のダイブデータ数が変わった場合、ダイブデータ№を修正すること(リナンバリング)ができます。

①メニューバーの「Logbook-Renumber」を選択し、「Renumber Logbook」のウィンドウで、修正したいダイブデータの最も小さい数値(半角数字のみ)を入力します。

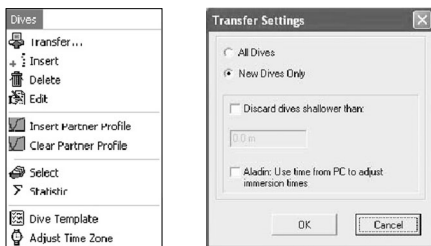
②「OK」で確定するとすべてのダイブデータ№を、Smart TRAKが自動修正します。

リナンバリングは日付と時間のデータを基に、昇順でつけられます。つまり一番古いダイブデータに一番小さなダイブデータ№がつくことになります。

1.ダイブコンピュータSmart & Aladinからダイブデータを転送する (Dives-Transfer)

ダイブコンピュータSmart & AladinからSmart TRAKへのダイブデータの転送は、IrDA通信を利用して行います。転送方法は、「すべてのダイブデータ」または「新しいダイブデータのみ」の2通りがあります。PCのIrDA通信環境が整っていない場合は、P5. I-2を参照してください。

*転送先のログブック内に重複したダイブデータがある場合、ひとつのデータのみを表示保存します。



1-1 すべてのダイブデータの転送

- ①新規ログブックまたは、転送先としたい既存のログブックを開きます。
- ②メニューバーの「Dives-Transfer」を選び、「Transfer Settings」のウィンドウで、「All Dives」にチェックを入れて「OK」で確定します。
- ③ダイブコンピュータのスイッチを手動でOnにします（ダイブコンピュータSmartの場合はスクリーンシールドを開いて下さい）。
- ④ダイブコンピュータの赤外線ポートと、PCの赤外線ポートを30cm以内の間隔で、正対させます。
*ダイブコンピュータSmart & Aladinの赤外線ポートは楕円の形をしています。赤外線ポートはディスプレイ右側に、Smart COMは下ディスプレイ（GAS (Air) 関連情報を表示）の左側にあります。
- ⑤「OK」で確定すると、自動で転送が始まります。転送中は、ダイブコンピュータをなるべく動かさないようにしてください。
- ⑥転送が終了すると、「Information」ウィンドウが開き、転送されたダイブデータ数を知らせます。「OK」をクリックして完了です。

1-2 新しいダイブデータの転送

- ①新規ログブックまたは、転送先としたい既存のログブックを開きます。
- ②メニューバーの「Dives-Transfer」を選び、「Transfer Settings」のウィンドウで、「New Dives Only」にチェックを入れて「OK」で確定します。
- ③ダイブコンピュータのスイッチを手動でOnにします（ダイブコンピュータSmartの場合はスクリーンシールドを開いて下さい）。
- ④ダイブコンピュータの赤外線ポートと、PCの赤外線ポートを30cm以内の間隔で、正対させます。
*ダイブコンピュータSmart & Aladinの赤外線ポートは楕円の形をしています。赤外線ポートはディスプレイ右側に、Smart COMは下ディスプレイ（GAS (Air) 関連情報を表示）の左側にあります。
- ⑤「OK」で確定すると、自動で転送が始まります。転送中は、ダイブコンピュータをなるべく動かさないようにしてください。
- ⑥転送が終了すると、「Information」ウィンドウが開き、転送されたダイブデータ数を知らせます。「OK」をクリックして完了です。

1-3 ～以浅のダイビングの消去

転送するダイビングの最低深度を定義できます。

メニューバーの「Dives-Transfer」を選び、「Transfer Settings」のウィンドウの「Discard dives shallower than」にチェックを入れ、その下に具体的な深度を記入します。これにより設定された深度より浅いダイビングは、すべてログブックに書き込まれません。このオプションを利用すると、浅いプールでのトレーニングダイブを消去できます。

*ダイブテンプレート機能 (P32. IV-8) を利用すると、転送したダイブデータに同じ情報を自動的に記入できます。さらに初期設定 (デフォルト) を利用すれば Buddies, Gear, Activities, Type, Fish 等の自動選択も行われます。

IV.ダイブデータの管理

2.ダイブデータ行の新規作成 (Dives-Insert)

ログブックに、データが何も記入されていない新しいダイブデータ行を作成できます。

- ①メニューバーの「Dives-Insert」を選択すると、ログブックの一番上にデータ未入力状態のダイブデータが1行、自動的に挿入されます。データの書き込み方法については、後述の「4.ダイブデータの編集」を参照してください。

3.ダイブデータの削除 (Dives-Delete)

ログブックからダイブデータを削除できます。

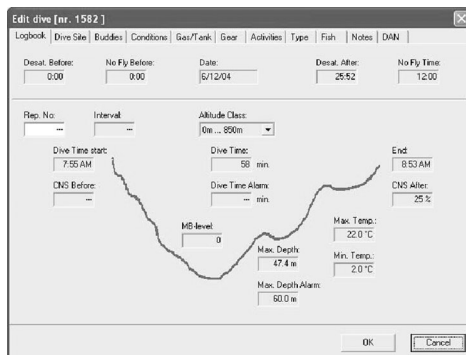
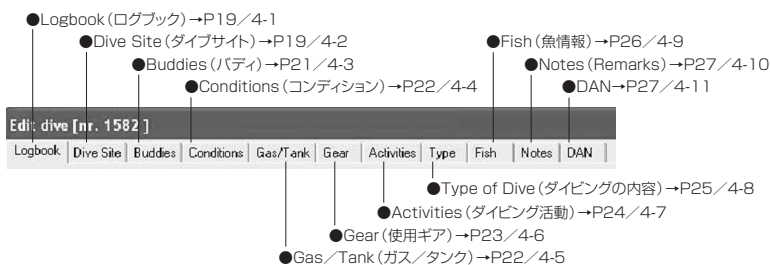
- ①「Dive Table」ウィンドウ上で、削除したいひとつ、あるいは複数のログを指定します。
- ②メニューバーの「Dives-Delete」を選択すると、「Information」ウィンドウが開き確認のメッセージが表示されます。
- ③削除してよければ「yes」で確定します。

◆注意!

一度削除したダイブデータは復元できません。ただし、もしそのダイブデータがダイブコンピュータSmart & Aladinに残っている場合は、もう一度転送することができます。

4.ダイブデータの編集 (Dives-Edit)

ログブック内のダイブデータを編集できます。メニューバーの「Dives-Edit」を選択すると、「Edit dive」ウィンドウが開きます。この画面でダイブコンピュータSmart & Aladinから転送したダイブデータに情報を追加したり、ダイブプロフィールに様々なインフォメーションを記入することができます。また前述の新規作成したダイブデータ行への書き込みも、この「Edit dive」ウィンドウで行います。



ダイブデータの変更・追加は以下の11項目で行います。詳細は、次ページからの各項目を参照してください。

◆注意!

新規作成したダイブデータはすべての項目の編集が可能ですが、ダイブコンピュータSmart & Aladinから転送したダイブデータの場合は、編集できない項目もあります。編集できない項目はダイアログがグレースケール表示になっています。

4-1 ログブックの編集 (Edit dive-Logbook)

ログブックには以下の情報を表示します。新規作成したダイブデータのみ、編集することが可能です。

- | | |
|--|---|
| ●Desat Before/Desat After:
ダイビング前および後の、体内残留窒素排出時間 | ●CNS Before/CNS After:
ダイビング前および後のCNS O ₂ % |
| ●No Fly Before/No Fly After:
ダイビング前および後の飛行機搭乗待機時間 | ●Dive Time : 潜水時間 |
| ●Date : ダイビング日時 | ●Dive Time Alarm: ダイブタイムアラームの時間 |
| ●Rep. No. : 反復潜水ナンバー | ●MB-Level : マイクロバブルレベル |
| ●Interval : 連続して行われたダイビングの
水面休息時間 | ●Max. Depth : 最大深度 |
| ●Altitude Class: 高度クラス | ●Max. Depth Alarm: 最大深度アラームの深度 |
| ●Dive Time Start: エントリータイム | ●Max. temp. : 最高水温 |
| | ●Min. temp. : 最低水温 |
| | ●End : エキジットタイム |

4-2 ロケーションの編集、画像データの取り込み (Edit dive-Dive Site)

①ダイブサイトの編集

「Site」のダイアログで、ダイビング地の名前を選択肢からひとつ選ぶと、自動的に「Location」(ダイビングエリア名)や「Water」(ダイビング地の状況。下記参照)をはじめとする各項目をアップデートします。アップデートしたデータは、同じダイビング地で行われたすべてのダイビングに反映されます。

[新しいダイブサイトの作成]

- ①「Site」のダイアログ上で右クリックし、ポップアップメニューを起動させ「Insert」をクリックします。
- ②表示されたテキストボックスにダイブサイト名を記入し、「OK」で確定します。
- ③編集ウィンドウが開かれるので、ダイブサイトに関する情報を記入、選択します。「Location」、「Platform」、「Water」、「Bottom」はダイアログ上で右クリックしポップアップメニューを起動させ「Insert」をクリックすると、テキストボックスが表示され、直接名称等を記入できます。

[ダイブサイトの内容の追加・修正]

- ①プルダウンメニューから、編集したいダイブサイトを選択します。
- ②ダイブサイト名を変更しない場合は、ダイブサイト名をダブルクリック、あるいは「Platform」右にある「…」コマンドボタンをクリックします。
- ③編集ウィンドウが開かれるので、ダイブサイトに関する情報を追加・修正します。

●Water : (ダイビング地の状況)

Bath (湯地)、Canyon (大峡谷)、Cave (洞穴)、Cavern (洞窟)、Chamber (チャンバー)、Lagoon (ラグーン)、Lake (湖)、Ocean (大洋)、Pond (池)、Pool (小さな池)、Quarry (石切場)、Reservoir (貯水池)、River (川)、Sea (海)、Spring (泉)、Swimming pool (水泳プール)

*「Site」の選択肢に該当するダイビング地がない場合は、「Site」ダイアログにダイビング地を入力した後、「Location」(ダイビングエリア)、「Water」(ダイビング地の状況)のダイアログへそれぞれ入力してください。*入力は半角英数字のみ。

IV.ダイブデータの管理

②画像データの取り込み

ダイブサイト情報には、ダイビング地のデジタル写真など画像データを加えることができます。

「Site Picture」の画面上で右クリックするとポップアップメニューが開き、画像データの挿入や削除、読み込んだ画像データの確認ができます。

【挿入】(Load/Insert Image)

ポップアップメニューの「Load/Insert Image」を選択しクリックすると、ファイル選択のウィンドウが開きます。取り込みたい画像データのファイルを指定すると、プレビューが表示されます。「開く」をクリックすると、「Site Pictures」画面に取り込んだ画像が表示されます。

【削除】(Delete Image)

ポップアップメニューの「Delete Image」を選択し取り込んだ画像データを削除します。

【確認】(Show Image Viewer)

ポップアップメニューの「Show Image Viewer」を選択すると、「Picture View」ウィンドウが開きます。拡大表示された画像データを見ることができます。

◆注意!

取り込んだ画像データはログブック内に保存されているわけではなく、画像データへのリンクができていないにすぎません。もし取り込み後にオリジナルの画像データの名前の変更、移動、削除等を行うとリンクが壊れて画像データのタイトルのみが表示されます。修正するには、ポップアップメニューの「Delete Image」で一度削除してから、再度画像データを選択し直してください。

FishとPictureパネルは同時に表示できません。

③ダイブサイトのサブページの編集(Wreck(レック)他)

ダイブサイトには4つのサブページがあります。「Site Notes」、「Wrecks」、「Wreck Pictures」、「Wreck Notes」がそれで、ダイブサイトの下側のタブをクリックし各ページを開きます。

【Site Notes】ダイブサイトに関する感想等を記入できます。

【Wrecks】Wreckの情報ページです。

●Wreckの新規作成

「Wreck」のダイアログの中程のテキストボックスに、Wreck名を記入し、「Add New」で確定します。その後、右の「Wreck Information」の各項目を記入します。*半角英数字のみ

●Wreckの編集

「Wreck」のダイアログから、該当する名前を選択します。「Wreck Information」の修正、追加を行い、「OK」で確定すればアップデートできます。Wreck名を変更する場合は、「Wreck」のダイアログ内のテキストボックスに表示された名前を変更し、「Change」で確定します。

●Wreckの削除

「Wreck」のダイアログから、該当する名前を選択します。「Delete」をクリックすると、リストから削除されます。

【Wreck Pictures】Wreckに関する画像データを取り込むページです。

●画像データの挿入、削除

「Wrecks」のページで、該当するWreck名を選択します。「Wreck Pictures」のページで、右クリックをしポップアップメニューを開きます。「Load/Insert Image(画像データの挿入)」、「Delete Image(画像データの削除)」、「Show Image Viewer(画像データのビュー)」が表示されるので、該当するものをクリックし、挿入、削除、ビューを行います。

【Wreck Notes】Wreckに関する感想等を記入できます。

4-3 バディの編集 (Edit dive-Buddy)

バディを組む人の情報を入力し保存することができます。複数のバディ情報をリストで管理できます。

*入力は半角英数字のみ。

【バディの新規作成】

右の入力画面で「Nickname」に名前を入力し、「Add New」で確定すると、左のダイアログに名前が表示されます。後、右のダイアログに必要な事項を入力します。バディを選択する場合は、左のダイアログの□に✓を入れます。

【バディの追加】

「Nickname」に名前を入力し、「Add New」をクリックすると、左ダイアログ内に新規リストが作成されます。そのリストに新規作成と同じように必要な事項を入力し、左ダイアログの□に✓を入れます。

【バディの修正】

バディの情報を修正する場合、左ダイアログのバディリストから修正したいバディの名前をクリックし選択します。そのバディの情報が右の入力画面に表示されるので、情報等を修正します。Nicknameを変更した時のみ「Change」で確定します。

【バディの削除】

左ダイアログのバディリストから削除したいバディの名前を指定し、「Delete」をクリックするとリストからそのバディが削除されます。

【画像データの挿入】

左ダイアログのバディリストから画像データを挿入したいバディの名前をクリックし選択します。「Load Image」コマンドボタンをクリックするか、写真エリア上で右クリックをすることで、ファイル選択のウィンドウが開きます。取り込みたい画像データのファイルを指定すると、プレビューが表示されます。「開く」をクリックすると、「Site Pictures」画面に取り込んだ画像が表示されます。

【新規作成するダイビングに、特定のバディを適用させる (初期設定)】

頻繁にバディを組むダイバーを、初期設定 (デフォルト) に設定できます。左ダイアログのバディリストからデフォルトに設定したいバディの名前を指定し、「Set as default buddy」に✓を入れます。新規作成をするダイビングのすべてに、このバディが自動的に設定されます。

【バディの様々な情報の登録】

バディ情報には3つのサブページがあります。「Address」、「Phone」、「Notes」がそれぞれ、バディの下側のタブをクリックし各ページを開き、情報を入力します。

IV.ダイブデータの管理

4-4 コンディションの編集 (Edit dive-Conditions)

天気と水質状況は、あらかじめ選択肢が用意されています。気温、水温、透明度は各ダイアログに数値を入力してください。

[Weather] ダイアログ

Weather: 天気

Sunny (快晴)、Fair Clouded (少し曇り)、Cloudy (曇り)、Overcast (どんよりした曇り)、Drizzly (霧雨)、Showery (にわか雨)、Rainy (雨)、Stormy (嵐)、Thunderstorm (台風)、Snowing (雪)、Sleet (みぞれ)、Clear (澄んだ青空)、Hazy (もや)、Misty (霧)、Foggy (濃霧)

Temperature: 温度

[Water] ダイアログ

Surface: 海面状態

Flat (べたなぎ)、No waves (波なし)、Small waves (小波)、Large waves (大波)、Huge waves (巨大な波)、Pool (プールのように静か)

Underwater: 水中の状態

Great visibility (抜群の透明度)、Good visibility (良い透明度)、Fair visibility (まあまあの透明度)、Poor visibility (見えづらい)、No visibility (透明度なし)、Muddy (泥のような状態)

Visibility: 透視度

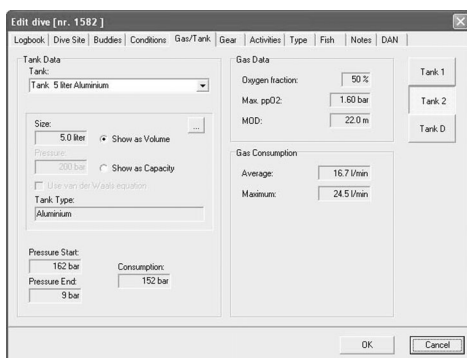
Max. Temp.: 最高水温

Min. Temp.: 最低水温

4-5 ガス/タンクの編集 (Edit dive-Gas/Tank)

タンクに関する情報を入力、閲覧できます。1ダイビングでタンク3本まで表示できます。各タンクごとに、タンクサイズ、ダイビング開始時と終了時のタンク圧、酸素比率、最大酸素分圧 (ppO₂ max) を知ることができます。

Gas Air Integratrd Dive Computerは、自動的にデータが読み込まれ、1分間のエア (混合ガス) 消費量と、1分間の最大エア (混合ガス) 消費量も知ることができます。



●Tank Data : タンクデータ

Tank : タンクの種類

Size : タンクサイズ

Pressure : タンク圧

Pressure Start: ダイビング開始時のタンク圧

Pressure End : ダイビング終了時のタンク圧

Consumption: 消費タンク圧

●Gas Data : ガスデータ

Oxygen fraction: 酸素比率

Max ppO₂ : 最大酸素分圧

MOD : 最大行動可能深度

●Gas Consumption: ガス消費量

Average : 1分間の平均エア (混合ガス) 消費量

Maximum : 1分間の最大エア (混合ガス) 消費量

【タンクの新規追加】

「Tank Data」の「Tank」ダイアログ上を右クリックをし、ポップアップメニューを起動させ、「Insert」を選択します。表示されたテキストボックスにタンク名を記入し、「OK」で確定します。編集ウィンドウが開かれるので、タンクに関する情報を入力します。

【タンクの編集】

「Tank」のプルダウンメニューから、編集したいタンクを選択します。タンク名を変更しない場合はタンク名をダブルクリックし、編集ウィンドウを開き、情報を追加・修正します。

タンク名を変える場合は、「Tank」ダイアログ上を右クリックしポップアップメニューを起動させ、「Edit」を選択します。表示されたテキストボックスに新しい名前を入力し「OK」で確定すると、タンクの編集ページが表示されます。

【タンクの削除】

「Tank」のプルダウンメニューから、削除したいタンクを選択します。そのタンク名のダイアログ上を右クリックしポップアップメニューを起動させます。「Delete」をクリックします

4-6 ダイビングギアの編集 (Edit dive-Gear)

ウエットスーツやウエイトの他に、ダイビング時に使用していたダイビングギアの情報を記録、編集することができます。いつも使うギアをデフォルト (標準ギア) として設定、追加することが可能です。*入力は半角英数字のみ。

●**Suit** :ウエットスーツ／着用したスーツを選択。

Wet suit 3 mm (3mmのウエット)、Wet suit 5 mm (5mmのウエット)、Wet suit 7 mm (7mmのウエット)、Shorty (半袖、半ズボンのワンピース)、Dry suit (ドライスーツ)、Semidry suit (セミドライスーツ)、No suit (ウエットスーツなし)、One pc. wet suit (ワンピース)、Two pc. wet suit (ツーピース)、Swim suit (水着)、Dive Skin (ダイブスキン)

●**Weight**:ウエイト／重さを記入。

●**Gear** :ギア／左の「Additional Gear」ダイアログで使用したギアに✓を入れます。ギアを追加、修正、デフォルト設定する方法は後述の各項を参照してください。

Compass (コンパス)、Knife (ナイフ)、Lamp (水中ライト)、Spear gun (スピアガン)

【ギアの追加】

右の「Gear:」ダイアログにギアの名前を入力し、下にある「Add New」をクリックすると、「Additional Gear」ダイアログ内に新規リストが作成されます。

【ギアの修正】

左の「Additional Gear」ダイアログのリストから修正したいギアをクリックします。そのギア名が右の「Gear:」ダイアログに表示されるので、右の「Gear:」ダイアログでギア名を修正し「Change」で確定します。「Additional Gear」ダイアログ内のギア名も修正されます。

【ギアの削除】

左の「Additional Gear」ダイアログのリストから削除したいギアをクリックし、右下の「Delete」をクリックし削除します。

【全ダイビングに、同一ギアを適用させる (初期設定)】

左の「Additional Gear」ダイアログのリストから、全ダイビングに適用したいギアを選択し✓を入れます。右の「Gear:」にその名が表示されていることを確認し、「Set as default gear」に✓を入れ下の「Apply」をクリックします。複数のギアを全ダイビングに適用させる場合は、1ギアずつ上記操作を行います。複数のギアを一度に設定はできません。

IV.ダイブデータの管理

4-7 アクティビティの編集 (Edit dive-Activities)

ダイビング活動の選択、追加ができます。*入力は半角英数字のみ。

●Activities : 行ったアクティビティに✓を入れます

Sightseeing (観光)、Safari (ダイビングツアー)、Holiday (休日)、Education (ダイビング教育)、Instruction (指導)、Wreck dive (レックダイブ)、Drift dive (ドリフトダイブ)、Cave dive (ケープダイブ)、Ice dive (流氷ダイブ)、Night dive (ナイトダイブ)、Training dive (訓練ダイブ)、Club dive (クラブダイブ)、Fun dive (ファンダイブ)、Check dive (チェックダイブ)、Search dive (サーチダイブ)、River dive (河)、Photo dive (写真)、Spear fishing (スピアフィッシング)、Work (仕事)、Research (リサーチ)、Proficiency (熟練)、Learning (学習)、Teaching (指導)、Test dive (テストダイブ)、Training (トレーニング)、Competition (大会)

[アクティビティの追加]

右の「Activity:」ダイアログにアクティビティの名を入力し、下にある「Add New」をクリックすると、「Activities」ダイアログ内に新規リストが作成されます。

[アクティビティの修正]

左の「Activities」ダイアログのリストから修正したいアクティビティ名をクリックすると、「Activity:」覧にその名が表示されます。アクティビティ名を変更してから「Change (変更)」で確定します。

[追加したアクティビティの削除]

左の「Activities」ダイアログのリストから削除したいアクティビティ名をクリックし、右下の「Delete」をクリックし削除します。

[全ダイビングに、同一アクティビティを適用させる (初期設定)]

左の「Activities」ダイアログのリストから、全ダイビングに適用したいアクティビティを選択し✓を入れます。右の「Activity:」にその名が表示されていることを確認し、「Set as default activity」に✓を入れ下の「Apply」をクリックします。複数のアクティビティを全ダイビングに適用させる場合は、1アクティビティずつ上記操作を行います。複数のアクティビティを一度に設定はできません。

4-8 ダイビング内容の編集 (Edit dive-Type of Dive)

ダイビングの内容の選択や追加ができます。*入力は半角英数字のみ。

●**Type**: 左のダイアログのダイビングの内容に✓を入れます

No stop (無減圧ダイビング)、Decompression (減圧ダイビング)、Single ascent (浮上1回)、Multiple ascent (何度も浮上)、Fresh water (真水)、Sea water (海水)、Nitrox (ナイトロックス)、SCR (Semi Closed Circuit Rebreather / 半閉鎖式呼吸システム)、Safety stop (安全停止)、Gauge mode (ゲージモード)

【ダイビング内容の追加】

右の「Type:」ダイアログにダイビング内容を入力し、「Add New」をクリックすると、左の「Type」ダイアログ内に新規リストが作成されます。

【ダイビング内容の修正】

左の「Type」ダイアログのリストから修正したいダイビング内容をクリックすると、右の「Type:」ダイアログにその名が表示されます。ダイビング内容を変更してから「Change」で確定します。

【ダイビング内容の削除】

「Type」ダイアログのリストから削除したいダイビング内容を選び、右の「Type:」ダイアログにその名が表示されていることを確認し、「Delete」をクリックし削除します。

【全ダイビングに、同一のダイビング内容を適用させる (初期設定)】

左の「Type」ダイアログのリストから、全ダイビングに適用したいダイビング内容を選択し✓を入れます。右の「Type:」ダイアログにその名が表示されていることを確認し、「Set as default type of dive」に✓を入れ下の「Apply」をクリックします。複数のダイビング内容を全ダイビングに適用させる場合は、ひとつずつ上記操作を行います。複数のダイビング内容を一度に設定はできません。

IV.ダイブデータの管理

4-9 Fish情報の編集 (Edit dive-Fish)

魚やサンゴなど、ダイビング中に見た生物について写真や情報を記録することができます。

【Fishの新規作成】

右の「Name:」ダイアログに名前を入力し、「Add New」をクリックすると、左の「Fish」ダイアログ内に新規リストが作成されます。右の他の入力画面に必要な事項を入力し、左ダイアログの□に✓を入れます。

【Fish情報の修正】

Fishの情報を修正する場合、左ダイアログのFishリストから修正したいFishの名前をクリックし選択します。そのFishの情報が右の入力画面に表示されるので、情報等を修正します。「Name:」を変更した時のみ「Change」で確定します。

【Fishの削除】

左ダイアログのFishリストから削除したいFishの名前を指定し、「Delete」をクリックするとリストからそのFishが削除されます。

【画像データの挿入】

左ダイアログのFishリストから画像データを挿入したいFishの名前をクリックし選択します。「Load Image」コマンドボタンをクリックするか、写真スペース上で右クリックし開いたポップアップメニューから「Load Image」を選択することで、ファイル選択のウィンドウが開きます。取り込みたい画像データのファイルを指定すると、プレビューが表示されます。「開く」をクリックすると、取り込んだ画像が表示されます。

【様々な情報の登録】

Fish情報のサブページで、そのダイビングにおけるFish情報を記録保存することができます。左ダイアログのFishリストから、そのダイビングで記録保存したいFishを選び✓を入れます。「On this dive」タブが追加されるので、情報を記入します。左ダイアログのFishリストの✓をはずすと、「On this dive」ページの情報が消失します。気をつけてください。

【新規作成するダイビングに、特定のFishを適用させる (初期設定)】

特定のFishを、初期設定 (デフォルト) に設定できます。左ダイアログのFishリストからデフォルトに設定したいFish名を指定し、「Set as default fish」に✓を入れます。新規作成をするダイビングのすべてに、このFishが自動的に設定されます。「Set as default fish」の✓をはずすとデフォルト設定を解除できます。

4-10 ダイブデータにコメントを追加する (Edit dive-Notes)

すべてのダイブデータに、ダイビングに関係した情報やコメントなどの追加、編集ができます。

「Notes」ダイアログにコメントを入力すると、ダイブプロフィール・パネルの最下段にあるRemarksパネルに入力した内容が表示されます。

【Remarksパネルの表示・非表示】

Remarksパネルの表示は、以下の2つの方法があります。

- メニューバーの「Option-Layout」をクリックして、「Color」ウィンドウを開きます。
「Dive Window」ダイアログの「View」で「Remarks」に✓を入れると、Remarksパネルが表示されます。
- 「Dive」ウィンドウ上でマウスを右クリックしポップアップメニューを開きます。「View」を選び、「Remarks」に✓を入れると、Remarksパネルが表示されます。

4-11 DAN情報を追加する (Edit dive-DAN)

ダイビングの詳細、結果、安全に関する一定の情報を追加・記録することができます。この情報はDAN (ダイバーズアラートネットワーク) のDL7レベル3へのエクスポート時に必要です。

入力が必要な項目、およびDANのDL7ファイルに関する詳細はDANにお問い合わせください。

IV.ダイブデータの管理

5.「Dive」ウィンドウの編集

5-1 ダイブプロファイルにメモをつける (Markers)

ポップアップメニューのMarker (マーカー) を使って、ダイビング中の特別な事柄をダイブプロファイル上に記入できます。



【マーカーの挿入】

- ① 「Dive」ウィンドウで、ダイブプロファイル上のマーカーを挿入したいポイントにカーソルを移動させます。
- ② マウスを右クリックしポップアップメニューを開き、「Marker-Insert」を選択します。
- ③ 開いた「Marker」ウィンドウのダイアログにメモを入力します。マーカーの位置に問題がなければ、「OK」で確定します。マーカーをつけずに終了するには、「Cancel」をクリックします。

【マーカーの編集】

●位置の移動

ダイブプロファイル上で移動したいマーカーにポイントを合わせると、メモ周辺でポインタが指マークに変わります。その位置で左クリックをしたまま適切な位置までドラッグしてください。

●メモの修正

メモ上で右クリックしポップアップメニューを表示し、「Marker-Edit」を選択します。開いた「Marker」ウィンドウのダイアログで修正後、「OK」で確定します。変更をしない場合は「Cancel」をクリックします。「Cancel」はメモ変更のみを無効にするもので、マーカー位置には影響しません。

●マーカーの削除

ダイブプロファイル上のメモを右クリックし、ポップアップメニューを表示します。「Marker-Delete」を選択し削除します。

5-2 画像データを表示する (Pictures)

ダイブプロファイル・パネルのすぐ下のウィンドウ(「Picture」パネル)で、画像データを表示できます。

【「Picture」パネルの表示】

メニューバーの「Option-Layout」をクリックし、「Color」ウィンドウを開きます。「View」の「Pictures」に✓を入れます。また「Dive」ウィンドウ上でマウスを右クリックしポップアップメニューを開き、「View」の「Picture」に✓を入れる方法でも「Picture」パネルが画面に表示されます。

【画像データの挿入、削除、ビュー】

「Picture」パネル上で右クリックすると独自のポップアップメニューが開きます。「Load/Insert Image」で新しい画像データの挿入、「Delete Image」で画像データの削除、「Show Image Viewer」で別ウィンドウで画像データを拡大表示できます。各作業手順はP20.IV-4-2-②と同じです。

◆注意!

保存されるのは画像データファイルへのリンクだけです。もし、画像データ挿入後、画像データのファイル名、保存先の変更、別のディレクトリへの移動、削除等を行うと表示が不可能になります。

5-3 バディのダイブプロファイルを一括に表示する (Dives Insert/Clear Partner Profile)

【パートナー・プロファイルの挿入 (Insert Partner Profile)】

ダイブプロファイル・パネル上にバディのプロファイルを一時的に重ねて表示できます。

※あらかじめ挿入したいバディのダイブプロファイルを、Smart TRAKをインストールした同じPCのハードディスクまたは他のドライブに保存しておく必要があります。

- ①メニューバーの「Dives-Insert Partner Profile」を選択し、「Open Partner Profile」ウィンドウを開きます。
- ②「Folder」からバディのダイブデータを保存しているファイルを選びます。
- ③「Logbook」から該当するログを指定すると、「Dive」に指定したログブックの内容が表示されます。挿入するダイブデータNoを指定し「OK」で確定します。
- ④表示しているダイブプロファイルのグラフにバディのダイブプロファイルがグラフ表示されます。

*挿入するプロファイル数の制限はありません。開いているログブック内にバディのプロファイルは保存されていません。

【パートナー・プロファイルの削除 (Delete Partner Profile)】

メニューバーの「Dives-Clear Partner Profile」を選択します。最後に挿入したパートナーのダイブプロファイルが削除されます。また、他のダイブデータのダイブプロファイルに表示を変更すると、パートナー・プロファイルは削除されます。

IV.ダイブデータの管理

6.ダイブデータの抽出 (Dives-Select)

「Dive Table」ウィンドウのダイブデータを様々な条件で抽出できます。



①メニューバーの「Dives-Select」を選択し、「Select」ウィンドウを開きます。

②Logbook、Location、Buddies、Conditions、Gear、Activities、Type、Fish、Remarksの各ページから、抽出したい条件項目を選び、チェック欄に✓を入れ、さらにその右にあるダイアログで詳細な条件を選択または入力し「Apply」をクリックします。その条件に合うダイブデータのみが抽出され、「Dive Table」ウィンドウに表示されます。

抽出対象となる条件

- Logbook : Number (ダイビング№)、Date (日付)、Dive Time (潜水時間)、Max Depth (最大深度)
- Location : Location (ダイビングエリア)、Site (ダイビング地)、Platform (エントリー場所)、Water (ダイビング地の状況)、Bottom (海底状況)
- Buddies : パディ
- Conditions: Weather (天候)、Surface (海面の状況)、Underwater (水中の状況)
- Gear : Suit (ウエットスーツの種類)、Gear (使用ギア)
- Activities: ダイビング目的
- Type : ダイビング内容
- Fish : 魚
- Remarks : 補足項目

7.ダイビング情報の統計 (Dives-Statistics)

ログブック内のすべてのダイブデータを対象とした詳細な条件別、ダイビング情報の統計データを見ることができます。たとえば「パラオのどこで何回くらいダイビングをしたか」、「どのくらいの深度で何回ダイビングをしたか」、「誰と何回パディを組んだか」など…。

メニューバーの「Dives-Statistics」を選択し、「Statistics」ウィンドウを開きます。Logbook、Locations、Buddies、Conditions、Gas/Tank、Gear、Activities、Type、Fishの各ページに、以下の条件別の自動集計した統計データが表示されます。

*セルのタイトル行をクリックすると昇順、あるいは降順に並べ替えることができます。

●Logbook (ログブック):各深度の範囲 (Depth Range) 別統計

Dive Count : ダイビング本数、Dive Time:合計潜水時間

Average : 平均潜水時間、Sum of Depth:合計深度に換算

●Locations (ダイビングロケーション): 以下の条件別ダイビング本数の統計

Location : エリア別、Platform: エントリー場所別、Site: ダイビング地別、Bottom: 海底状況別

Water : ダイビング地の状況別

Bath (湯地)、Canyon (大峡谷)、Cave (洞穴)、Cavern (洞窟)、Chamber (チャンバー)、Lagoon (ラグーン)、Lake (湖)、Ocean (大洋)、Pond (池)、Pool (小さな池)、Quarry (石切場)、Reservoir (貯水池)、River (川)、Sea (海)、Spring (泉)、Swimming pool (水泳プール)

●Buddies: バディ別ダイビング本数の統計

●Conditions (天候や海の状態)

Weather : 天気別統計

Sunny (快晴)、Fair Clouded (少し曇り)、Cloudy (曇り)、Overcast (どんよりした曇り)、Drizzly (霧雨)、Showery (にわか雨)、Rainy (雨)、Stormy (嵐)、Thunderstorm (台風)、Snowing (雪)、Sleet (みぞれ)、Clear (澄んだ青空)、Hazy (もや)、Misty (霧)、Foggy (濃霧)

Surface : 海面状態別統計

Flat (べたなぎ)、No waves (波なし)、Small waves (小波)、Large waves (大波)、Huge waves (巨大な波)、Pool (プールのように静か)

Underwater: 水中の状態の統計

Great visibility (抜群の透明度)、Good visibility (良い透明度)、Fair visibility (まあまあの透明度)、Poor visibility (見えづらい)、No visibility (透明度なし)、Muddy (泥のような状態)

●Gas/Tank: ナイトロックスを使ったダイビングの統計

●Gear: ウエットスーツおよびギアのダイビング別使用回数の統計

Wet suit 3 mm (3mmのウエット)、Wet suit 5 mm (5mmのウエット)、Wet suit 7 mm (7mmのウエット)、Shorty (半袖、半ズボンのワンピース)、Dry suit (ドライスーツ)、Semidry suit (セミドライスーツ)、No suit (ウエットスーツなし)、One pc. wet suit (ワンピース)、Two pc. wet suit (ツーピース)、Swim suit (水着)、Dive Skin (ダイブスキン)、Compass (コンパス)、Knife (ナイフ)、Lamp (水中ライト)、Spear gun (スピアガン)

●Activity: アクティビティ別の統計

Sightseeing (観光)、Safari (ダイビングツアー)、Holiday (休日)、Fun dive (ファンダイブ)、Education (ダイビング教育)、Instruction (指導)、Wreck dive (レックダイブ)、Drift dive (ドリフトダイブ)、Cave dive (ケープダイブ)、Ice dive (流氷ダイブ)、Night dive (ナイトダイブ)、Training dive (訓練ダイブ)、Club dive (クラブダイブ)、Fun dive (ファンダイブ)、Check dive (チェックダイブ)、Search dive (サーチダイブ)、River dive (河)、Photo dive (写真)、Spear fishing (スピアフィッシング)、Work (仕事)、Research (リサーチ)、Proficiency (熟練)、Learning (学習)、Teaching (指導)、Test dive (テストダイブ)、Competition (大会)

●Type: ダイビングタイプ別の統計

No stop (無減圧ダイビング)、Decompression (減圧ダイビング)、Single ascent (浮上1回)、Multiple ascent (マルチアセント)、Fresh water (真水)、Sea water (海水)、Nitrox (ナイトロックス)、SCR (Semi Closed Circuit Rebreather)、Safety stop (安全停止)、Test dive (テストダイブ)

●Fish: 魚別ダイビング本数の統計

IV.ダイブデータの管理

8.ダイブテンプレート (Dives-Dive Template)

ひとつのダイブデータをダイブテンプレート (定型ダイブデータ) として設定することができます。
ダイブテンプレートを利用して、簡単に新しいダイブデータの作成・編集ができます。

ダイブテンプレートに設定したダイブデータと同じログブックの中に、ダイブコンピュータSmart & Aladinからダイブデータを転送、あるいはダイブデータ行を新規作成します。

すると転送あるいは新規作成したすべてのダイブデータに、ダイブテンプレートの情報や数値 (下記参照) が自動的にコピーされます。

*ダイブコンピュータSmart & Aladinからのダイブデータの転送はP17.IV-1参照、ダイブデータ行の新規作成はP18.IV-2参照。

*初期設定 (デフォルト) を利用すればBuddies, Gear, Activities, Type, Fish等の自動選択も可能です。

【ダイブテンプレートの設定】

- ①メニューバーの「Dives-Template」を選択し、「Dive Template」ウィンドウを開きます。
- ②「Use Template (テンプレートを使用)」の□に✓を入れます。
- ③最新のダイブデータを、ダイブテンプレートとして設定する場合は、「Template」ダイアログ内の「Last Dive (最新のダイブ)」を選択します。

ひとつのダイブデータを、ダイブテンプレートとして設定する場合は、「Template」ダイアログ内の「Dive Number (ダイブデータNo)」を選択して、その下のダイアログからダイブテンプレートに設定するダイブデータNoを選び、「OK」で確定します。

◆注意!

特定のダイブデータをダイブテンプレートとして設定する前に、ダイブデータの情報や数値を記入、変更しておいてください。ダイブデータの転送、ダイブデータ行の新規作成後の記入や変更は反映されません。

【コピーされるダイブデータの項目】

●Location (ダイビングロケーション)

Location (ダイビングエリア)、Site (ダイビング地)、Water (ダイビング地の状況) 他

●Conditions (コンディション)

Weather : Weather (天気)、Temperature (気温)

Water : Surface (海面状態)、Underwater (水中の状態)、Visibility (透視度)

●Gas/Tank (ガス/タンク)

Tank Data : Size (タンクサイズ)、Tank Type (タンクタイプ) 他

●Gear (ギア)

Suit (ウエットスーツ)、Weight (ウエイト)

●DANセッティング

9. 時差の調整 (Dives-Adjust Time Zone)

ダイブコンピュータSmart & Aladinからダイブデータを転送後、転送したダイビングデータの日付や時刻を修正できます。時差のあるダイビング地でダイビングをした時に使う機能です。ダイブデータの日付と時刻は、ダイブデータをPCへ転送する時点でのPCの時刻に基づいて計算され、入力されます。もし、PCの時刻と時差のある場所で行ったダイビングのデータを転送する場合は、ダイブデータの時刻を正すために時差を修正しなくてはなりません。

*ダイブコンピュータSmart & Aladinからのダイブデータの転送はP17.IV-1参照。

- ①「Dive Table」ウィンドウの修正したいダイビングを選択します。
- ②メニューバーの「Dives-Adjust Time Zone」を選択し、「Adjust Local Time」ウィンドウを開きます。
- ③時差に応じてプラス、マイナスのどちらかを選びます。プラスあるいはマイナスをしなければならない数字を、「Days」(日付) や「Hours」(時刻) のダイアログに入力してください。「OK」で確定すると変更が反映されます。

ログブック内のダイブデータやダイブプロフィール、統計結果を印刷できます。



1.使用するプリンタの設定

- 1.メニューバーの「Logbook-Print」を選択し、「Print」ウィンドウを開きます。
- 2.「Printer」のところに表示したいプリンタ名と用紙サイズが表示されているか確認してください。
- 3.プリンタ名の横の「Setup...」をクリックして、「プリンタの設定」ウィンドウで、用紙等を設定します。また使用プリンタの変更もここでできます。

*プリンタのより詳細な設定方法はWindowsのヘルプを参照してください。

2.印刷プレビュー

印刷状況を確認するには、「Print」ウィンドウの「Select」覧の「Preview」をクリックします。「Print Preview」ウィンドウが開き、印刷結果にほぼ近い状態が表示されます。

3.「Dive Table」ウィンドウの印刷

- 1.メニューバーの「Logbook-Print」を選択し「Print」ウィンドウを開きます。
- 2.「Printer」で使用するプリンタ、用紙を設定します。
- 3.「Select」-「Print」覧から、「Logbook」を選びます。
- 4.「Select」-「Select」をクリックすると、データ項目の選択覧が開きます。そこに✓を入れ「Apply」で確定すると、該当するダイブデータのみが印刷されます。
 - *「Dive Table」画面に表示されている状態がそのまま印刷されます。そこでデータ項目のセレクト方法はP8. II -2-3、セル幅の調整はP8. II -2-3を参照してください。
 - *「Select-Font Size」で、文字の大きさを変更できます。出荷時の初期設定値は10ですが、この数値を小さくすると文字が小さくなり、印刷範囲は広がります。
- 5.「OK」で確定すると、印刷を開始します。

4.「Dive」ウィンドウの印刷

- 1.印刷したい「Dive」ウィンドウを、あらかじめ画面に表示させておきます。
- 2.メニューバーの「Logbook-Print」を選択し、「Print」ウィンドウを開きます。
- 3.「Printer」で使用するプリンタ、用紙を設定します。
- 4.「Select-Print」覧から、「Dive Profile」を選びます。
 - *また「Select-Profile Scale」で、印刷の縮小率を変更できます。「1.0」は用紙全体に、「0.9」では用紙の90%の大きさで印刷されます。
- 5.「OK」で確定すると、印刷を開始します。

V.印刷する

5.統計結果の印刷

- 1.メニューバーの「Logbook-Print」を選択し、「Print」ウィンドウを開きます。
- 2.「Printer」で使用するプリンタ、用紙を設定します。
- 3.「Select-Print」覧の、「Statistics」を選びます。
- 4.「Statistics」覧の、印刷したい項目にチェックを入れます。印刷不要の項目はチェックをはずしてください。
- 5.「OK」で確定すると、印刷を開始します。

6.文字色の変更

「Dive Table」ウィンドウと統計結果は、印刷時の文字の色を変えることができます。「Print」ウィンドウの「Select」覧の「Font color」ダイアログで色を選択します。

7.グレースケールダイブプロフィール

ダイブプロフィールのグラフを、モノクロプリンターで印刷する場合、「Select」にある「Grey scale dive profile」に✓を入れると、グラフ印刷の質を高めることができます。



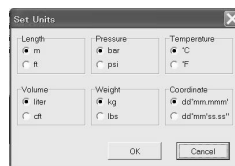
1. 表示単位の変更 (Options-Units)

表示する単位をそれぞれ変更できます。

- ①メニューバーの「Options-Units」を選択し、「Set Units」のウィンドウを開きます。
- ②変更する単位にチェックをつけ「OK」で確定します。すべてのログブックに変更が反映され、プログラム終了時に自動的に上書き保存されます。

以下の項目を変更できます：

Length (長さ)	m (メートル)	ft (フィート)
Pressure (タンク圧)	bar	psi
Temperature (温度)	°C (摂氏)	°F (華氏)
Volume (容積)	liter (リットル)	cft (キュービックフィート)
Weight (重さ)	kg (キログラム)	lbs (ポンド)
Coordinate (緯度経度)	dd°mm.mmm'	dd°mm'ss.ss"



2. 画面レイアウトを設定する (Options-Layout)

「Dive」ウィンドウの標準レイアウトを変更できます。各パネルの表示・非表示やダイブプロファイル・パネルのカーソルの形態・色、背景の色を変えることができます。



2-1 ダイブプロファイルのカーソルを設定する

- ①メニューバーの「Options-Layout」を選択し、「Color」ウィンドウを開きます。
- ②「Profile Cursor」ウィンドウで、次の3種類のカーソルパターン「Line」（直線）、「Cross」（十字線）、「Diver」（ダイバー）から選択することができます。
- ③「Color」をクリックすると、「色」ウィンドウが開きます。希望の色を選び「OK」で確定すると、選択したカーソルの色が変わります。色設定の詳細は、P36.2-4を参照してください。
*「Diver」カーソルの色は変更できません。

2-2 ダイブプロファイルの背景を設定する

- ①メニューバーの「Options-Layout」を選択し、「Color」ウィンドウを開きます。
- ②「Background」ウィンドウで、次の3種類の背景パターン「Style1」、「Style2」、「Style3」から選択することができます。
- ③「Color」をクリックすると、「色」ウィンドウが開きます。希望の色を選び「OK」で確定すると、ダイブプロファイルの背景の色が変わります。色設定の詳細は、P36.2-4を参照してください。

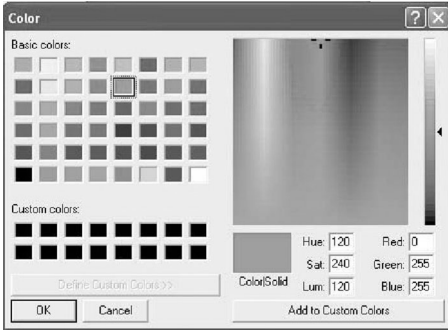
VI. オプション・メニュー

2-3 Remarksパネルの文字の大きさを設定する

- ①メニューバーの「Options-Layout」を選択し、「Color」ウィンドウを開きます。
- ②「Remarks Font Size」ウィンドウで、文字の大きさを設定し、「OK」で確定すると、Remarks/パネルの文字の大きさが変更されます。

2-4 色設定を細かく指定・保存する

カーソルや背景の色の細かな設定は、「Profile-Cursor」ウィンドウまたは「Background」ウィンドウの「Color」をクリックして開いたウィンドウで指定します。



- ①「基本色」、「作成した色」あるいは右のカラースペクトル上から希望の色を選択します。
- ②選択した色は、「色 | 純色」スペースに表示されます。カラースペクトルの右にあるスライダーを上下することにより、その色の濃度(明暗)を変更することができます。
- ③新しく作成した色をお気に入りとして保存できます。色を選択後あるいは作成後、カラースペクトル下にある「色の追加」をクリックします。「作成した色」にその色が追加されます。

3. 水温と運動量のプロフィール表示の切り替え (Show Temperature Profile/Show Workload Profile)

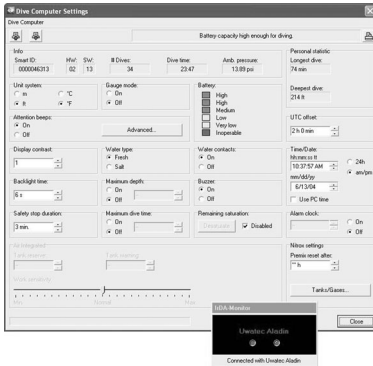
Gas (Air) Integrated Dive Computerのみ。

- ①メニューバーの「Option」から「Show Temperature Profile」あるいは「Show Workload Profile」をクリックすることで、ディスプレイ上に表示するプロフィールを水温あるいは運動量に切り替えられます。

4. ダイブコンピュータの設定 (Options-Dive Computer Settings)

IDナンバーやバージョンナンバーの確認、ダイブコンピュータSmart & Aladin の設定変更ができます。

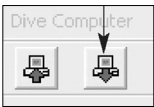
*PCのIrDA通信環境の設定を終了していることを確認してください。PCのIrDA通信環境が整っていない場合は、P5. 1 -2を参照してください。



- ①メニューバーの「Option-Dive Computer Settings」をクリックします。
- ②ダイブコンピュータのスイッチを手動でOnにします (ダイブコンピュータSmartの場合はスクリーンシールドを開いて下さい)。
- ③ダイブコンピュータの赤外線ポートと、PCの赤外線ポートを30cm以内の間隔で、正対させます。
*ダイブコンピュータSmart & Aladinの赤外線ポートは楕円の形をしています。赤外線ポートはディスプレイ右側に、Smart COMは下ディスプレイ (GAS (Air) 関連情報を表示) の左側にあります。
- ④Smart TRAKがダイブコンピュータのデータを自動で読み込み、「Dive Computer Settings」ウィンドウを表示します。「Dive Computer Settings」ウィンドウでは、次ページのようなダイブコンピュータSmart & Aladin内の情報の確認、ダイブコンピュータSmart & Aladinの設定変更ができます。
*項目内の英語表示 (例: [Info-HW]) は、「Dive Computer Settings」ウィンドウ内の表記です。

◆注意!

設定変更は、「Dive Computer Settings」ウィンドウの左上にある、「Write Settings to dive computer」ボタンを押さなければ確定されません。



VI.オプション・メニュー

●Smart TRAKで確認できる、ダイブコンピュータ内の情報

項目	内容	数値
Smart ID [Info-Smart ID]	製品ID・シリアルナンバー (ダイブコンピュータ本体内部の基板のID番号)	10ケタの数値で表示
ハードウェアのバージョンNo [Info-HW]	製品管理に用いるハードウェアのバージョン情報です。	ハードウェアのアップグレード後、数値が変わります。
ソフトウェアのバージョンNo [Info-SW]	ダイブコンピュータ上で作動しているソフトウェアのバージョンナンバーです。	ハードウェアのアップグレード後、数値が変わります。
#ダイブ [Info-# Dives]	ダイビング合計数	数値で表示
潜水時間 [Info-Dive time]	ダイブコンピュータ内の合計潜水時間	時間と分で表示
環境圧 [Info-Amb. pressure]	周囲の空気圧	mbarまたはpsiで表示
統計 最長ダイビング時間 [Personal statistic-Longest dive]	一番長かったダイビングの時間	分で表示
統計 最深ダイビング深度 [Personal statistic-Deepest dive]	一番深かったダイビングの深度	mで表示
バッテリー [Battery]	バッテリーの残量。 残量が少ない場合は、正規製品取扱店を通し、SCUBAPRO UWATEC JAPANまでバッテリー交換に出すことをお勧めします。	6段階で表示

●ダイブコンピュータSmart & Aladinで、設定・変更ができる項目

項目	内容	数値
ダイブコンピュータの表示単位 [Unit system]	メートル法(深度:m、圧力:bar)／ヤード・ポンド法(深度:ft、圧力:psi)、摂氏(°C)／華氏(°F)の変更ができます。	初期設定値(出荷時): メートル法(深度:m、圧力:bar)、 温度:摂氏°C
注意メッセージの音 [Attention beeps]	注意メッセージ音のOn/Offの切り替えができます。 また個別にOn/Off を切り替えることもできます。	初期設定値(出荷時):On On/Off
酸素比率(O ₂ % MIX)のリセットタイム [Nitrox settings-Premix reset after]	酸素比率(O ₂ % MIX)をエア(圧縮空気、21%)にリセットする、リセットタイム (Premix reset after)	初期設定値(出荷時):**h (リセットしないに設定されています) 1～6時間は1時間ごと、8～18時間は2時間ごと、24～48時間は12時間ごとに設定可能

●Gas (Air) Integrated Dive Computerの、設定・変更ができる項目

項目	内容	数値
タンク内に残しておく、エア(ガス)のリザーブ量 [Air Integrated-Tank reserve]	ダイビング終了後(水面に浮上後)、 タンク内に残しておくエア(ガス)リザーブ量の設定	初期設定値(出荷時):40 bar 20～120 barの間で設定可能
エア(ガス)残量警告を発令する基準値 [Air Integrated-Tank warning]	タンク内のエア(ガス)残量を警告します。 その警告の基準となる、タンク内の残量の設定	初期設定値(出荷時):100 bar 50～200 barの間で設定可能
エア消費量増加警告を発令する基準値 [Air Integrated-Work sensitivity]	エア消費量増加を警告します。 その警告の基準となる、エア消費量の設定	初期設定値(出荷時):スライダーの位置は中央

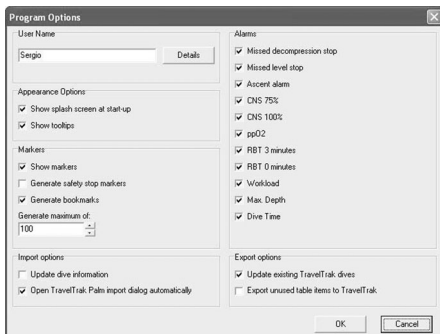
●モデルによって、設定・変更ができる項目

項目	内容	数値
ゲージモード [Gauge Mode]	ゲージモードOn/Offの設定。 ゲージモード時は、深度、最大深度、潜水時間、残圧、浮上速度を表示します。* ダイブコンピュータのディスプレイには、無減圧限界時間をはじめ減圧スケジュールに関する情報は表示しません。ダイブデータをSmart TRAKに転送すれば、Smart TRAK上でそのダイビングの減圧に関する情報を確認できます。	初期設定値(出荷時): Off On/Off
UTCオフセット(タイムゾーン) [UTC offset]	±13時間 時間は1時間ごと、分は15分ごとに変更ができます	初期設定値(出荷時): 9h0min(日本標準時)
LCD コントラストの調整 [Display contrast]	ディスプレイのコントラストの調整ができます	初期設定値(出荷時): 4 1(Low) ~ 12(High)
水質タイプ [Water type]	On(海水)/Off(淡水)を選択できます。表示する水深のみに影響し、減圧計算やMOD警告の精度には影響しません。	初期設定値(出荷時): On(海水)
水検知スイッチ [Water contacts]	水検知スイッチのOn/Off 詳細はダイブコンピュータの取扱い説明書をご覧ください。	初期設定値(出荷時): On
24時間表示またはAM/PM表示 日付表示の変更 時刻の調節 [Time/Date]	am/pm(AM/PM表示)、24h(24時間表示) mm/dd/yy(月/日/年(AM/PM表示))、 dd.mm.yy(日/月/年(24時間表示))	初期設定値(出荷時): am/pm(AM/PM表示) mm/dd/yy(月/日/年(AM/PM表示))、 日本時間
バックライト [Backlight time]	バックライトの点灯時間の設定。 長い点灯時間は多くのバッテリーを消費し、バッテリー寿命が短くなります。	初期設定値(出荷時): 6~8s(6~8秒、ダイブコンピュータによる) 2~12秒の間で、1秒ごとに設定可能
深度アラーム [Maximum depth]	設定した深度に達すると注意音が鳴ります。その基準となる、深度の設定およびOn/Off	初期設定値(出荷時): Off 5~100mの間で、5mごとに設定可能 On/Off
Sound [Buzzer]	音を完全にOffにすることができます。 詳細はダイブコンピュータの取扱い説明書をご覧ください。	初期設定値(出荷時): On
セーフティストップ・タイマー [Safety stop duration]	3分(初期設定値)から0分までカウントダウンします。	初期設定値(出荷時): 3min.(3分) 1~5分
ダイブタイム・アラーム [Maximum dive time]	設定したダイブタイムを経過した時に、注意メッセージを鳴らすことができます。 そのダイブタイムの設定およびOn/Off	初期設定値(出荷時): Off 5~195分 On/Off
体内残留窒素排出時間のリセット [Remaining saturation]	体内残留排出時間をリセットできます。 詳細はダイブコンピュータの取扱い説明書をご覧ください。	初期設定値(出荷時): Disabled(リセットしない) On/Off
アラームクロック [Alarm clock]	指定の時刻にアラームを鳴らせます。	初期設定値(出荷時): Off 0~23時間59分 On/Off
タンク1,2およびDの酸素比率(O ₂ % MIX) [Nitrox settings-Tanks/Gases]	使用する酸素比率の設定	初期設定値(出荷時): 21%O ₂ 21~100%(ダイブコンピュータにより異なる)
タンク1,2およびDの最大酸素分圧(ppO ₂ % max) [Nitrox settings-Tanks/Gases]	最大酸素分圧の設定	初期設定値(出荷時): 1.40 bar 1.0~1.95 bar(ダイブコンピュータにより異なる)
タンク1,2およびDのタンクベアリングの削除 [Nitrox settings-Tanks/Gases]	トランスミッターのベアリングの削除	

*表示項目は、モデルにより異なります。

5.プログラム オプション (Options-Program Options)

メニューバーの「Options-Program Options」を選択し、「Program Options」ウィンドウを開きます。そこで次の設定ができます。



●**User Name:**ユーザー名設定 *入力は半角英数字のみ。

「Details」コマンドボタンを押すと、個人情報を入力できます。

*個人の詳細情報はDAN DL7 Level3へのデータエクスポート時に必要です。

●**Appearance Options**

Splash Screen:プログラム起動時のタイトル画面の表示、未表示の設定

「Show Splashscreen at start-up」に✓を入れると、表示されます。

Show tooltips:ポップヒントの表示、非表示の設定

「Showtooltips」に✓を入れると、表示されます。

●**Markers**

ダイブプロファイル・ウィンドウ上のマーカーの表示・非表示

ダイブプロファイル・ウィンドウ上のブックマーク自動作成On/Off。および限界の設定(一部の機種のみ)

●**Alarms:**ダイブプロファイル・ウィンドウ左下に表示する、警告マークの表示・非表示の設定

*各アラームの詳細はP11. II-3-3を参照ください。

質問1:体内組織パネルにおいて、窒素飽和が100%になった場合、それは何を意味するのですか？

色も赤や緑ではなく、紫色になっています。

答 :体内組織において、窒素が100%以上飽和しているということです。紫色はそれを示しています。減圧症の危険が大変高くなります。指示された減圧停止には、必ず従わなくてはなりません。

質問2:写真がダイブウィンドウあるいは、編集ウィンドウに出てきません。

答 :取り込んだ画像データはログブック内に保存されているわけではなく、画像データへのリンクができていないにすぎません。もし取り込み後にオリジナルの画像データの名前の変更、移動、削除等を行うとリンクが壊れて画像データのタイトルのみが表示されます。修正するには、ポップアップメニューの「Delete Image」で一度削除してから、再度画像データを選択し直してください。

質問3:Smart TRAKを起動させると、「The logbook 'xxx' does not exist.」というエラーメッセージが出て、Smart TRAKが直ちに停止します。

答 :Smart TRAKを起動すると、最近使ったログブックのダイブデータが自動的に開きます。もし最近使ったログブックのファイル名の変更、移動、削除などが行われていると、こうした状況になります。そこで以下の手順で、Smart TRAKが開こうとするログブックを変更してください。

「The logbook 'xxx' does not exist.」というエラーメッセージの画面を「OK」で確定し、表示された「ファイルを開く」ウィンドウから開きたいログブックを選択。「開く」で確定すると、Smart TRAKが起動され選択したログブックが開きます。

質問4:Smart TRAKが使用している、アルゴリズムは何ですか。

答 :Smart TRAKおよびUwatec社のダイブコンピュータに組み込まれているアルゴリズムは、ビュールマン式の組織張力を推定するもので独自の気泡推定値を使ったネオホールデンモデルです。世界の指導的な生理学者がこのモデルを広範囲に検証しています。

質問5:ダイブコンピュータと通信しようとすると、Smart TRAKのIrDAモニタウィンドウに「No device」と表示されます。

答 :P5 I-2「IrDA通信環境の確認」およびP17 IV-1「ダイブコンピュータSmart & Aladinからダイブデータを転送する」に書かれた指示を、もう一度確認してください。PCのIrDAポートはインストールされ使用可能になっていますか？ ドングルはシリアルポートに、USBモデルはUSBポートに正しく接続されているかチェックしてください。

■メンテナンス、修理等、製品についてのお問い合わせは、eサポートTECセンターへお願いします。
「SCUBAPRO UWATEC JAPAN eサポートTECセンター」
〒231-0801 横浜市中区新山下3-9-1
ダイワコーポレーション新山下営業所内
Tel.045-489-4801 Fax.045-628-1541 www.eserv.jp

SCUBAPRO UWATEC JAPAN
SCUBAPRO ASIA LTD.
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-3-1 三菱重工横浜ビル
Tel.045-489-4800 Fax.045-222-8195
www.scubapro.co.jp